(様式第3号)

企業·団体名 株式会社塩澤製作所

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

項	カ					= 11 11 1 - 1 - 1		主な	SDGs	(17ゴー	-ルと16	9ター	ゲット	-)関	連項E		
項目番号	テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2	3 4	5	6 7	8 9	10	11	12 1	3 14	15	16 17
番号	カテゴリ	, <u> </u>	レベル	選択入力	選択入力	(東などの取得能能があれば、好せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 m. 2 m	3 mins	\$ man	Q	**************************************	10 (20)	Alla C	∞ s::	≥ NET	15 :::···· <u>∳≃</u>	¥
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			・男女差別等人権差別は行っていない。(昇給、昇進 や福利厚生等についても同様の扱いをしている)			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本(必須)			・就業規則にハラスメント禁止規定設置。 【予定】ハラスメント防止教育を実施していく。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8						16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。 ・36協定の順守と徹底。					8.5 8.8						
4	_	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			・外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を 行っている。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3					
5	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・安全衛生推進者を中心に従業員の安全の確保と業務の円滑な遂行に取り組んでいる。		3			8						
6	• 労 働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			・年1回ストレスチェックを実施している ・社員が相談しやすい雰囲気作りを心掛けている。		3									
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本(必須)			・多様な人材が活躍できる職場環境づくりに努めている。 ・資格保有の高齢者においては、就労意欲があれば雇 用延長を実施している。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3					
8	=	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・職務や役割に応じた外部研修への参加・通信教育等を受ける機会を提供している ・技能検定や資格取得を支援している		4	5.5		8 9						
9		【公正な待遇】・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			・同一労働賃金の原則に沿った体制の整備・対応を 行っている。(正社員、パート社員等)			5.5		8.5	10.2 10.3					
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・健康経営優良法人の認定を受けている(経済産業省) ・都道府県協会けんぽ「健康企業宣言」を行なっている ・社員の健康増進のための福利厚生を整備している	,	3			8						
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			・廃棄物の処理は外部業者に委託し、マニフェスト管理 している。							11.6	12	14.	1	
-	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・中部電力ビジエネレポートを利用して把握している。				7.3				1	13		
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・照明のLED化を実施。 ・空調設備を高効率空調設備へ更新。				7.2 7.3			1	12.4 1	3.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本(必須)			・自社においての取り扱いはない。 ・委託業者にて製品に付与される有機化学物質を把握している。		3.9		6.3			11.6 1	12.4			

項	カ					= 11.11.1. = 40		主な	SDGs	(17ゴ-	ールと	69タ	ーゲ	ット)	関連	項目		
目	テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (果などの取得認証があれば、併せて記載)	1 2	3 4	5	6 7	8	9 1	10 1	1 12	13	14	15 16	ຳ 17
項目番号	カテゴリ) エクク 機 口	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 EM 2 EM 455	S satters 4 Statem	©	6 *************************************	8 mm 8	10:	\$ ¼	∞ 5 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	10 11111	M 112**** 15	16 2011	7 mm
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	【予定】地域の環境保護活動に参加し、生物の多様性や生態系の保護活動に努める				6.6							15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			・廃棄物は分別し、適正に処理している。 ・使用済み封筒やミスコピー用紙の再利用で、紙資源のリュースに努めている。								13		14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自社の水使用量を把握し、適切に管理している。				6.4 6.6								
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	·IS014001取得予定		3.9		6 7				12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	・当社ホームページに環境への取組みを掲載する								12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							7.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)											12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・就業規則に記載し、社内教育において周知徹底して い る。											16.1	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			・就業規則に記載し、社内教育において周知徹底して い る。											16	ì
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			・第三者の特許権及び著作権等、知的財産権の不正利用や侵害する行為は行わない事を周知している					8.2 8.3	9						
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			・個人情報の取り扱いについては、厳格な情報管理を徹底し取り扱い注意を周知している。 ・社員等のマイナンバーの適切な管理をしている。											16	;
26	損行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			・現状の取扱無し、今後も取扱わないことを徹底する											16	i
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・定期的に協力会社との意見交換を行い、倫理面・人権侵害・ハラスメントに対する認識の共有を行っている			5		8	1	10	12	13	14	15 16	6 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3			8	9 1	10					17

項								主な	SDGs	(17=	ールと	169 5	ヌーク	デット	·)関	連項	a	
自		チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の	具体的な取組	1 2	3 4	5	6	7 8	9	10	11 1	12 1	3 14	1 15	16 17
日番号		アエック項目	レベル	選択入力	【予定】の 場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 27% fritht	3 mms 4 mm 4 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm 1 mm	Q	6 :::::::	8 2222	9 222/222**	10 cation 11	12 ·	X ::::	() () () () () () () ()	15 820***	16 MILES 17 MILES
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			・ISO9001(2015年版)の認証取得 法令遵守・規格要求を仕組みに落とし込み事業活動 を推進している		3.9						1.	2.4			
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			・ISO9001(2015年版)の認証取得 ・法令遵守・規格要求を仕組みに落とし込み事業活動 を推進している						9						
31	ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)							6				1	12 1	13 14	4 15	
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)				1 2	3 4	5	6	7 8	9	10	11 1	12 1	13 14	4 15	16 17
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			・地域学生に対して工場見学等を実施し地域交流を行っている		4				9		11 1	12	14	4 15	17
34	地域貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・外国籍児童支援や高校の部活動・赤い羽根協同募 金等に協力している		4						11		14	4 15	17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			・地域の高校などと連携し、地域雇用の拡大を図っている。					8	9		11 1	12 1	13		
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			·ISO9001を取得しており、品質方針・ 品質目標を定めPDCAサイクルをまわして、 継続的改善方法を模索し業務管理を実施している。					8	9						17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			・朝礼時や社内ポータルサイト上に法令順守の重要性を周知し、社員 の意識 向上を図っている												16
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本		【予定】	・今後担当を定め組織体制を整備 する												16
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			・ISO9001を認証取得し、利害関係者との対話により影響を把握し対応に努めている。												16 17
40	制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・危機管理初動対応マニュアル及び事業継続計画書 (BCP)を制定し運用している。												16
41		・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん	チャレンジ (任意)			【予定】CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備していく。												16
42		【事業継続】・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・地震・事故時の事業継続計画(BCP)を策定し、毎年、事故や災害に備えた訓練を実施している・災害時の事業継続のため、非常食の配備、非常用発電設備を設置している						9		11		13 3.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・継続的な人材採用、教育・育成を行っている					8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1 2	3 4	5 6	7	8	9 10 1	1 12 13	14 15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※ 1 …組織の社会的責任に関する国際規格 ※ 2 … 労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定